

令和6年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

中学校（社会）

受験番号	中社会	氏名	
------	-----	----	--

注意事項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから9ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上においてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

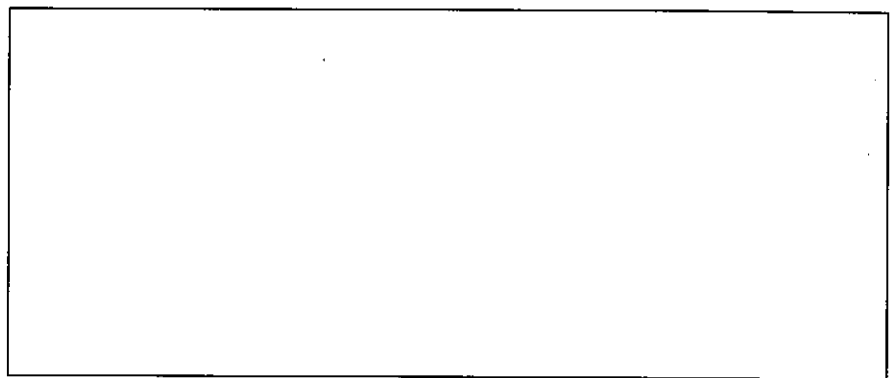
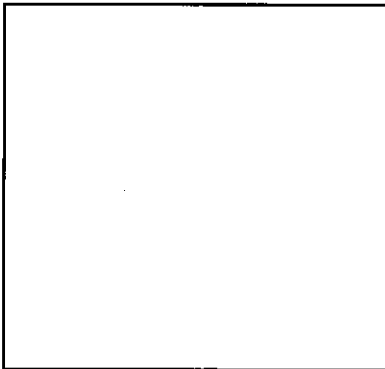
1 「世界各地の人々の生活と環境」の学習について、「世界各地の人々の生活は、自然環境とどのように関わり合いながら成り立っているのだろうか」という単元の課題を設定し、学習を進めた。資料1は、ある生徒が単元の学習を通して活用した振り返りシートである。後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

資料1 振り返りシート

時	主な学習活動	各時間のまとめ	振り返り
1	○単元の課題を設定する。	【単元の課題】 「世界各地の人々の生活は、自然環境とどのように関わり合いながら成り立っているのだろうか。」	・世界各地の人々の生活について触れられるのが楽しみだな。気になる国や地域の人々の衣食住について、積極的に調べてみたい。
2	○熱帯の地域の人々の生活について、特色を捉える。	・熱帯に暮らす人々は、気候や自然環境を上手に生かしながら生活を送ってきたが、近年、 <u>人間の生活と自然環境のバランスが崩れつつある地域もある。</u>	・熱帯の島国では、自然環境を生かした観光業が盛んだな。ただ、乱開発が進む地域もあり、自然をどのように守っていくかが課題だな。
3	○乾燥帯の地域の人々の生活について、特色を捉える。	・サヘルの人々は、厳しい自然環境のなかで工夫して生活を送っており、 <u>植民地時代の歴史が文化や生活に大きな影響を与えている。</u>	・アフリカ北部の国では、砂漠の生活のなかで、様々な生活の知恵を生かし、多様な文化や生活様式を築き上げていることに感心した。
4	○(a) <u>温帯の地域の人々の生活について、特色を捉える。</u>	・温帯に暮らす人々は、気候や自然環境を生かしつつも、 <u>他国との交流や時代の移り変わりと共にライフスタイルに大きな変化が見られる。</u>	・同じ温帯でも、国や地域によって景観が異なり、様々な文化や生活があることが分かった。日本の気候と比較してみたい。
5	○(b) <u>冷帯・寒帯の地域の人々の生活について、特色を捉える。</u>	・ <u>イヌイットの生活は、伝統的な狩猟生活から定住型の生活へと大きく変化している。</u>	・イヌイットの生活は、これからも変わっていくのだろうか。それでも、自分たちの文化に誇りをもっているのは素晴らしいことだな。
6	○高山気候の地域の人々の生活について、特色を捉える。	・(c) <u>標高4000mほどの高地に暮らすアンデスの人々は、高地に合わせた作物を育てたり、家畜を飼育したりして暮らしている。</u>	・ペルーは赤道に近い国なのに一年中気温が低い地域があることに驚いた。山岳部の高度差を活用した農牧業の展開に興味をもった。
7	○(d) <u>世界の宗教の分布と特色から人々の生活との関係を捉える。</u>	・宗教は人々の生活と深く結びついており、食文化や生活様式の違いを生んでいる。	ア
8	○単元のまとめを行う。	【単元のまとめ】 世界各地の人々の生活は自然的条件だけでなく～。	・世界の気候の特徴は捉えられたので、人々の生活と自然環境の関係をもっと学習して、実際に現地の人達と交流したいな。

資料2 ある都市の雨温図

資料3 世界地図



(1) 資料2は、資料1の下線(a)について、生徒が作成したある都市の雨温図である。次の①、②の問いに答えなさい。

- ① 資料2の雨温図が示す気候区分名を書きなさい。
- ② 資料2の雨温図にあてはまる都市を資料3の図中A～Dから選びなさい。

(2) 資料4は、資料1の下線(b)における授業中の教師と生徒の会話の一部である。次の①、②の問いに答えなさい。

① 下線(ア)について、冷帯と寒帯の気温の違いが分かるように、それぞれの特徴を「冷帯は……。寒帯は……。」の形で書きなさい。

② 下線(イ)の生徒の質問に対して、冷帯が南半球で見られない理由を書きなさい。

(3) 資料5は、資料1の下線(c)において、生徒がペルーの高地に暮らす人々の伝統的な生活について、衣食住の視点でまとめたワークシートである。自然環境と生活様式を関連付けて、(ウ)～(オ)に当てはまる語句を書きなさい。

(4) 資料6は、資料1の下線(d)について、生徒が世界の主な宗教人口をまとめた表である。次の①、②の問いに答えなさい。

① (カ)～(ケ)は、仏教、イスラム教、キリスト教、ヒンドゥー教のいずれかの宗教が当てはまる。(キ)の宗教名を書きなさい。

② 人々の生活を中心とした文化を学習する際に留意すべきこととして、「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編」には「自分たちの生活を絶対視して捉えてはいけない」とある。これを踏まえ、生徒がどのような振り返りを書けるとよいか。資料1の(ア)に当てはまるよう書きなさい。

(5) 第8時で、単元の課題についてまとめる際に、第2～5時のまとめ(点線部)を意識するよう指示した。生徒がどのような単元のまとめを書けるとよいか、「世界各地の人々の生活は自然的条件だけでなく、……」に続く形で書きなさい。

資料4 教師と生徒の会話の一部

生徒1：「(ア)同じ寒い地域でも冷帯と寒帯では、どのような気候の違いがあるのですか？」

教師：「気温に注目してみてください。」

生徒1：「そうか。冷帯は……。」

寒帯は……。」

生徒2：「先生、分布図を見て気付いたのですが、(イ)どうして冷帯の気候は南半球には見られないのですか？」

資料5 ワークシート

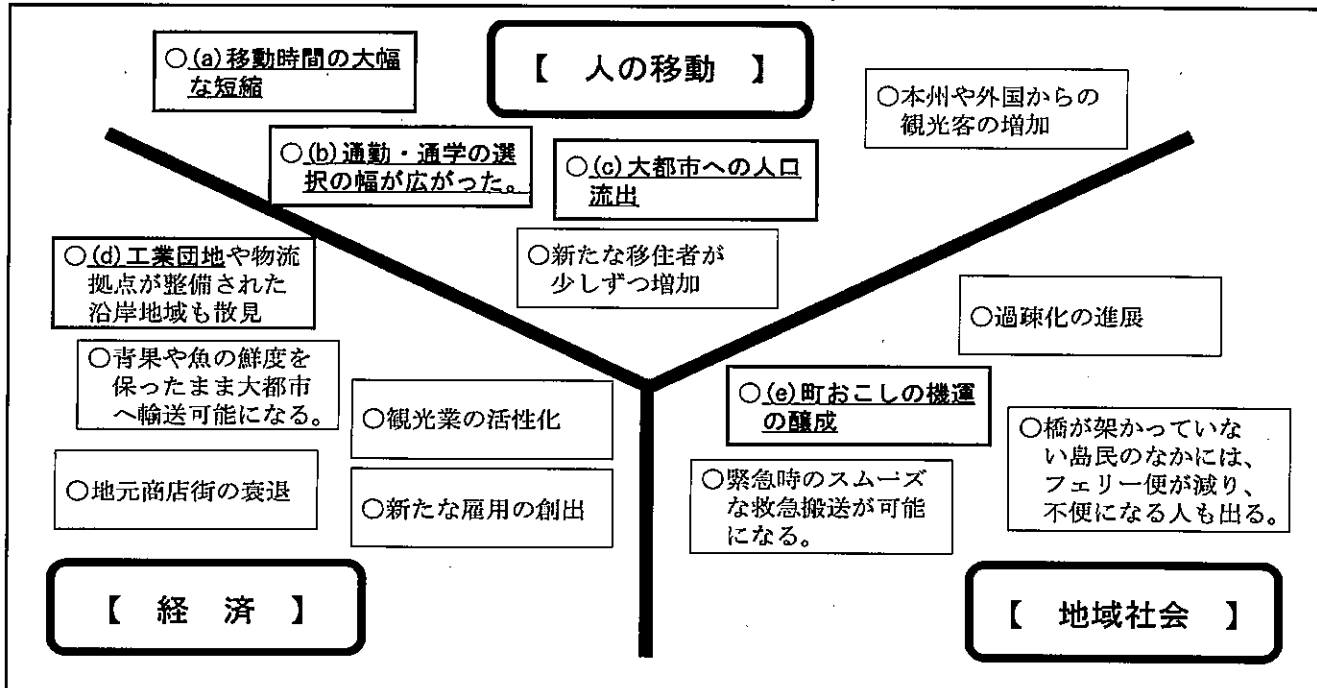
	自然環境	生活様式
衣	昼と夜の寒暖差が大きい。	・リヤマや(ウ)の毛を使ったポンチョで寒さを防いだり、体温調整をしたりする。
	紫外線が強い。	・つばの広い帽子で日差しを防ぐ。
食	冷涼な気候である。	・寒さに強い(エ)を蒸して食べる。乾燥させて保存食にもする。
住	(オ)限界を超えるため、草原が広がる。	・材料が限られるため、石造りや日干しレンガの住居が目立つ。

資料6 主な宗教人口

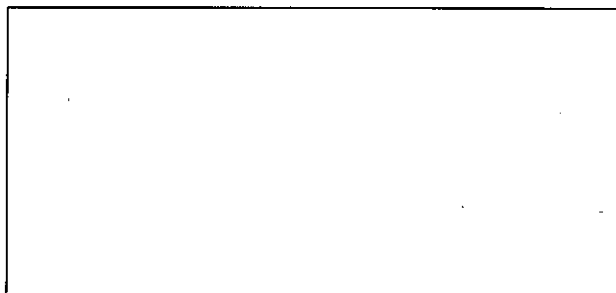
--

2 「日本の諸地域」における「中国・四国地方」の学習について、「本州四国連絡橋の開通は、中国・四国地方において、どのような生活の変化をもたらしたか」という単元の課題を設定し、学習を進めた。資料1は、単元のまとめの過程において、あるグループが活用した思考ツールである。後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

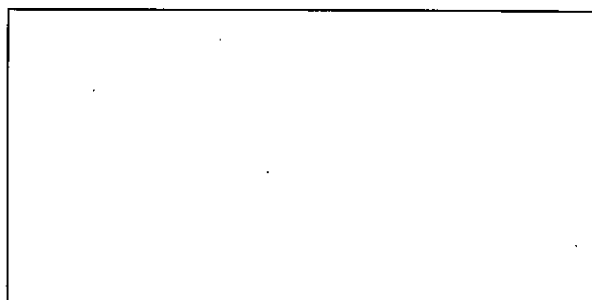
資料1 本州四国連絡橋の開通に伴う四国・島しょ部での生活の変化



資料2 本州四国連絡橋



資料3 本州四国連絡橋の開通年表

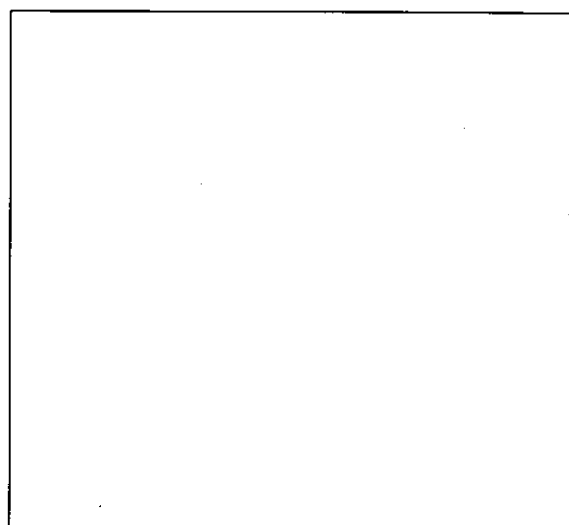


(1) 資料1の下線(a)について、生徒が本州四国連絡橋の位置関係を資料2の図にまとめた。次の①、②の問いに答えなさい。

- ① Aルート of 総称を書きなさい。
- ② Bルートは、岡山県と香川県を結ぶルートであるが、起終点にあたる香川県の都市名を書きなさい。

(2) 資料1の下線(b)について、生徒が資料3と資料4を根拠にして、Bルートの開通による通勤・通学者の推移を読み取った。2つの資料を比較して、読み取れるとよい内容を書きなさい。

資料4 岡山県・四国間の通勤・通学者の推移

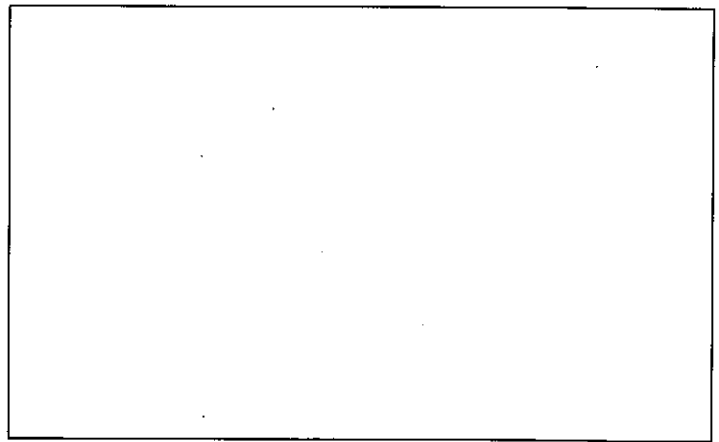


(3) 資料1の下線(c)について、次の①、②の問いに答えなさい。

- ① 大都市に地方から人口が流出する現象を何というか書きなさい。
- ② 人口増加が著しい大都市では過密対策にどんな取組を行っているか、例を1つ書きなさい。

(4) 資料1の下線(d)について、生徒が瀬戸内工業地域の特徴を捉えるため、資料5の出荷額割合をまとめた。⑦と⑧は全国または瀬戸内工業地域のグラフである。瀬戸内工業地域に当てはまるグラフはどちらかを選び、その理由を書きなさい。

資料5 全国と瀬戸内工業地域の工業種類別出荷額割合



(5) 資料1の下線(e)について、生徒が「過疎に悩む自治体の町づくりの成功例を調べたい」と教師に提案してきた。そこで、単元の発展学習として、資料6のようにジグソー学習を取り入れて、香川県直島町の「美しい自然とアートを生かした観光による町づくり」について課題解決する学習を設定した。次の①、②の問いに答えなさい。

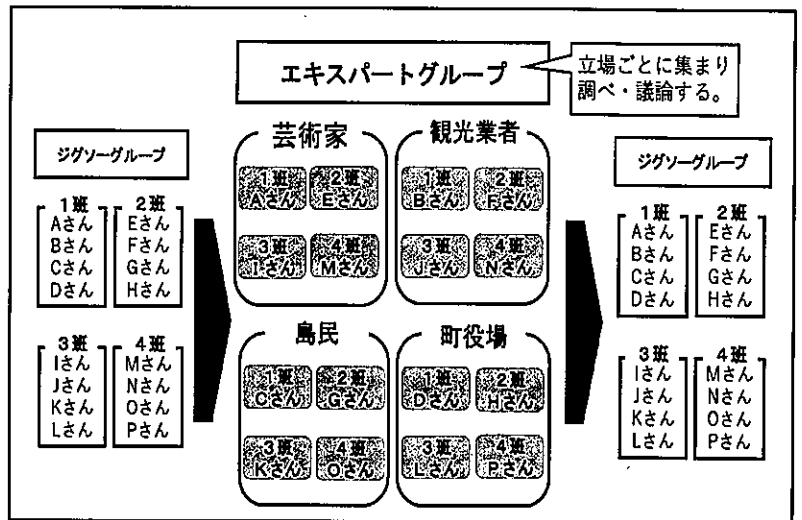
① 資料7は、島民役のエキスパートグループでの議論の一部である。観光による町づくりの議論の内容から、島民役の生徒に期待できる学習効果を下線(f)と関連付けて書きなさい。

② 資料8は、エキスパートグループで島民役となった生徒の振り返りである。そのなかで、「持続可能な町づくり」というキーワードが出てきた。「持続可能な町づくり」とは一般的にどのようなものか書きなさい。

資料8 島民役の生徒の振り返り

芸術家、観光業者、町役場の立場からの意見や考えを聞いて、観光ビジネスありきでなく、島民を巻き込んだ環境調和型の持続可能な町づくりが成功の理由だと分かった。

資料6 ジグソー学習



資料7 エキスパートグループ内での島民役の議論の一部

Cさん：「地中美術館の完成によって観光客が増えたのが分かった。島民にはどんな変化が生まれたのかな。」
 Gさん：「観光客が増えて、一部の住民は経済的に潤ったよ。」
 Kさん：「観光客に高齢者がボランティアガイドをすることで、島の魅力に気付く人も増えているんだ。」
 Oさん：「でも、観光客が増えたことで困っているという島民の声もあったよ。」
 Gさん：「それは、複雑だね。ただ、交流人口が増えるなかで、子育て世代を中心に島民同士がつながり、新しいコミュニティが生まれたり、空き家を利用した地域活性化につながったりしている例もあったよ。」
 Cさん：「(f) 同じ島民でも、観光客の受け入れについて、賛成・反対の立場等があり、新たな気づきがあったね。」

3 「中世の日本」における「ユーラシアの動きと武士の政治の展開」の単元において、資料1の単元計画に基づき、学習を進めた。後の(1)～(7)の問いに答えなさい。

資料1 単元計画

時	「○」は主な学習活動 「・」は主な学習内容
1	○前単元の振り返りやA 諸資料を基に、単元の課題を設定する。 【単元の課題】ユーラシアの変化、産業や文化の発達、中世の日本の政治や貿易、文化にどのような影響を与えたのだろうか。
2	○モンゴル帝国の襲来(元寇)前後の武家政権について調べる。 ・武家政権の成立について、天皇や貴族の政治と比較し、その違いについて理解する。 ・元寇の背景について調べ、B 元寇が日本国内に及ぼした影響について理解する。
3	○武家政治の動きと東アジアにおける交流を調べ、その関わりについて考察する。 ・日明貿易やC 琉球の役割を基に、東アジア世界との密接な関わりが見られ、日本国内の政治や社会に大きな影響を与えたことを理解する。 ・南北朝の争乱の中から、室町幕府が成立した背景を理解する。
4	○日本の農業の発達、D 都市や農村の仕組みについて調べ、鎌倉時代と比較し、考察する。 ・農業や商工業の発達について具体的に調べ、民衆の成長が社会や文化にもたらした影響を理解する。
5	○応仁の乱の背景やその後の社会の変化について資料から読み取る。 ・下の者が上をしのぐ(ア)の風潮が広がり、戦国大名が登場し、社会全体が大きく変化したことに気付く。 ・戦国大名が自らの領国を支配するために(イ)を定め、城下町を形成して産業の振興に努めたことを理解する。
6	○室町文化の特徴について、東アジアとの関わりや室町幕府の政治などと関連付けて考察する。 ・E 室町文化の形成された背景について、多面的・多角的に考察しその特色を理解する。
7	○ユーラシアの変化、産業や文化の発達は、日本の政治や貿易、文化にどのような影響を与えたのか、項目(政治、貿易、文化)ごとにまとめる。

(1) 資料1の(7)、(イ)に当てはまる語句を書きなさい。

(2) 資料1の下線Aについて、生徒の課題意識を高めるためにどのような要素を含む資料を提示するとよいか。例を1つ書きなさい。

(3) 資料2は下線Bの後に、幕府によって出された法令である。(ウ)に当てはまる法令名を書きなさい。

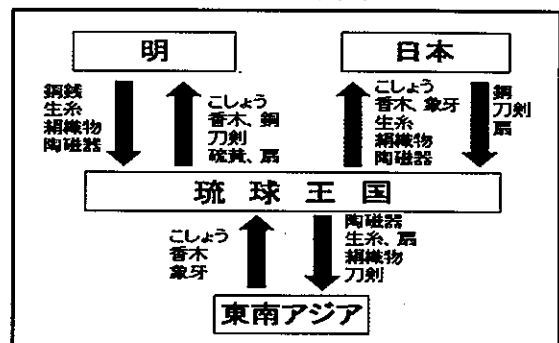
(4) 資料3は資料1の下線Cに関連するものである。この資料から読み取れる、琉球王国が行っていた貿易の名前を書きなさい。

(5) 資料1の下線Dに関して、第4時のまとめとして「鎌倉時代に比べ、室町時代は民衆が力をもつようになった。」と書いた生徒がいた。教師は、その背景を捉えさせるために、町の自治と村の自治を関連付けて考えさせることとした。町の自治・村の自治について、生徒に捉えさせたい内容をそれぞれ1つずつ書きなさい。

資料2 北条貞時が出した法令

(ウ) (1297年)
(一部要約)
領地の質入れや売買は、御家人の生活が苦しくなるもとなので、今後は禁止とする。…以前に売却した土地については、本来の持ち主に返却せよ。

資料3 アジア諸国の貿易



(6) 資料4は、資料1の下線Eについて、教師が生徒に提示したものである。この資料を提示し、生徒に気付かせたいことを、室町時代と現代の関係に着目して書きなさい。

資料4 生徒に提示した資料

① 室町時代の祇園祭と現代の祇園祭の様子

--	--

② 室町時代の能楽と現代の能楽の様子

--	--

(7) 「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編」では、中項目「中世の日本」の学習において「中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること」としている。他の時代との共通点や相違点に着目し、どのような活動をするのが適切と考えられるか書きなさい。

- 4 「近代の日本と世界」において、資料1は日本と欧米諸国、大陸との関係を踏まえて生徒がまとめた年表である。後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

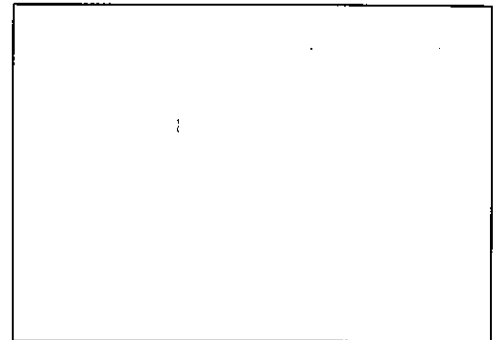
資料1 生徒がまとめた年表

欧米諸国や大陸の動き	年	日本の動き
ノルマントン号事件発生	1886	
	1889	(a) 大日本帝国憲法発布
	1890	(b) 第1回帝国議会
朝鮮で甲午農民戦争勃発	1894	(7) が交渉し、治外法権を撤廃 日清戦争勃発
A 三国干渉	1895	下関条約締結
朝鮮が国名を大韓帝国へ変更	1897	
清で義和団事件が発生	1899	
	1900	(c) 立憲政友会の結成
	1901	官営八幡製鉄所が操業開始
	1902	日英同盟を締結
	1904	B 日露戦争勃発
	1905	ポーツマス条約締結 C 日比谷焼き打ち事件
英・仏・露が三国協商締結	1907	
	1910	韓国併合
中国で辛亥革命がおこる	1911	(イ) が交渉し、関税自主権を完全に回復
清が滅亡し中華民国建国	1912	

- (1) 資料1の (7)、(イ) に当てはまる人名を漢字で書きなさい。

- (2) 資料1の下線Aについて、生徒が「なぜ、ロシアが主導で日本に勧告してきたのか。」と発言した。教師は、この発言についてクラス全体で考えさせるために、右の資料2を提示し、読み取れる内容をタブレット端末上で交流させた。生徒の発言に対する答えとして、この資料からどのようなことが読み取れるとよいか、書きなさい。

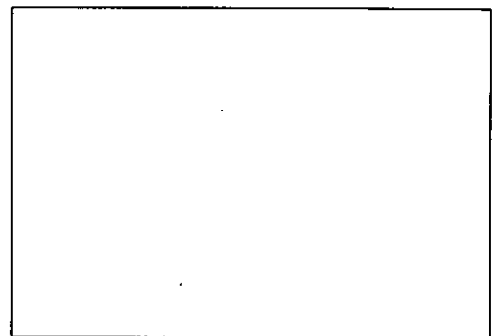
資料2 ビゴーの風刺画



- (3) 資料1の下線Bについて、この戦争が始まった理由を資料1中の義和団事件と関連付けて書きなさい。

- (4) 資料1の下線Cについて、資料3のグラフから、生徒に捉えさせたい日比谷焼き打ち事件の起きた原因を書きなさい。

資料3 日清戦争と日露戦争の比較



- (5) この学習のまとめとして、ある生徒は日本の国際的地位が向上した理由について、下のように記述した。教師は設定した評価規準「事象を相互に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している」に対して、この内容では不十分と判断し、生徒に年表(資料1)の点線部(a)～(c)に着目してさらに理由を付け加えるよう促した。生徒が追加して記述できるとよい内容を書きなさい。

日本の国際的地位が向上した理由

- ・日清、日露戦争に勝利し、列強として認められたため。
- ・不平等条約の改正を実現し、欧米と対等な立場になったため。

- 5 「私たちと現代社会」について、資料1の流れで学習を進めた。後の(1)～(6)の問いに答えなさい。

資料1 「私たちと現代社会」の単位時間ごとの主な学習活動

時	「○」は主な学習活動
1	○現代社会に関する諸資料を基に単元の課題を設定する。 【単元の課題】現代社会には、どのような特色と課題があるのだろうか。
2	○近年の少子化の進行と(a)の伸長によって、我が国の人口構造が変化し、世界でも類を見ない(b)少子高齢社会を迎えていることや、少子化が一層進み人口減少社会となっていることを捉える。
3	○(c)高度情報通信ネットワーク社会の到来により、世界中の人々と瞬時にコミュニケーションをとることが可能になったことや、様々な情報が公開、発信、伝達される状況であることを捉える。
4	○(d)大量の資本や人、商品、情報などが国境を越えて容易に移動できるようになり、それに伴い国内外に変化が生じてきていること、各国の相互依存関係が強まっていること、(e)共存のために相互協力が必要とされてきていることを捉える。
5	○これまで調べてきたことをもとに、私たちは、現代社会とどのように関わっていけばよいか話し合う。

(1) 高齢化の要因と考えられる資料1の(a)に当てはまる語句を書きなさい。

(2) 下線(b)について、次の①、②の問いに答えなさい。

① 「親と子供」「夫婦のみ」のような家族のことを何というか書きなさい。

② 少子高齢化が与える影響について考える場面で、資料2、資料3を提示することにした。これらの資料を関連付けて生徒に読み取らせたい内容を書きなさい。

資料2 高齢者1人を支える現役世代の人数

資料3 社会保障給付費の推移

(3) 下線(c)について、デジタル社会の形成のための施策を推進するために2021年9月に発足した内閣に設置された行政機関の名前を書きなさい。

(4) 第3時において学習活動を設定する際の留意点について、「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編」の内容の取扱いを踏まえて書きなさい。

(5) 下線(d)のことを何というか書きなさい。

(6) 下線(e)について、2021年に英国で開かれた「COP26」の議題の中心でもある、国際協力の必要性のある課題とは何か、書きなさい。

- 6 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則の学習における、「人権の保障と公共の福祉」の学習に関する内容について、後の(1)、(2)の問いに答えなさい。

資料1 日本国憲法における人権の保障に関わる内容について生徒がまとめたワークシート

日本国憲法の三つの基本原理			
(7)	(イ)	(ウ)	
自由権 ・(a)：精神の自由 ・身体の自由 ・経済活動の自由 ○個人の自由を保障する権利	社会権 ・生存権 ・(b)：教育を受ける権利 ・勤労の権利 ・労働基本権 ○人間らしく生きるための権利	基本的人権を守るための権利 ・参政権 ・請求権 ・請願権 ・裁判を受ける権利 ○人権の保障をより確かなものにする	新しい人権 ・環境権 ・自己決定権 ・プライバシーの権利 ・知る権利 ○社会の変化にとまなび求められる権利
平等権 ・個人の尊重 ・両性の本質的平等		(c)：公共の福祉 ・憲法第12条、13条、22条、29条に書かれている。	

資料2 「道路拡張をめぐる対立」の学習を生徒がまとめたワークシート

スーパーマーケットを経営するAさん		道路拡張を計画しているB市
・B市が道路拡張を計画している土地でスーパーマーケットを経営している。	対立の原因	・Aさんの店を含む土地に道路の拡張を計画している。
・今の場所で商売を続けたいから立ち退きたくない。 ・自分の店を頼る住民が多くいる。	双方の意見	・現在の道路は狭いうえに交通量が多く、事故が絶えないので新しい道路を作りたい。 ・土地の代金を補償するので立ち退いて欲しい。
・経済活動の自由	憲法との関連	・公共の福祉

- (1) 資料1は、日本国憲法における人権の保障に関わる内容を、生徒がまとめたワークシートである。次の①～④の問いに答えなさい。
- ① 日本国憲法の三つの基本原理(7)、(イ)、(ウ)に当てはまる語句を書きなさい。
 - ② 下線(a)にはどのような自由があるか、憲法に定められている内容から1つ書きなさい。
 - ③ 下線(b)に関連して、「義務教育については、授業料を徴収しない」等の教育の方針が定められている法律名を書きなさい。
 - ④ 下線(c)の公共の福祉とは何か、簡単に説明しなさい。

- (2) 資料2は、道路拡張をめぐる対立について生徒がまとめたワークシートの内容である。次の①～③の問いに答えなさい。

① Aさん・B市のどちらかの立場を選んで丸を付け、選んだ立場の主張について根拠を明確にして書きなさい。

② お互いの主張を交流させた後、教師はさらに資料3を生徒に提示し、下線部に着目するよう促した。この資料を通して生徒に気付かせたいことを書きなさい。

資料3 日本国憲法第29条

③ 対立が生じた場合には合意にいたる努力が必要になる。決定の内容や手続きの妥当性について判断を行う際、どのような考え方が必要になるか。生徒に身に付けさせたい考え方を書きなさい。

1	(1)	①		②	
	(2)	①	冷帯は	寒帯は	
		②			
	(3)	(㊦)		(㊧)	(㊨)
	(4)	①			
		②			
	(5)	世界各地の人々の生活は自然的条件だけでなく、			

2	(1)	①		②	
	(2)				
	(3)	①		②	
	(4)	グラフ	理由		
	(5)	①			
		②			

3	(1)	(㊦)		(㊧)	
	(2)				
	(3)				
	(4)				
	(5)	町の自治			
		村の自治			
	(6)				
	(7)				

社 会	解答用紙	2枚中の2	受験 番号	中社会	氏 名	(6年)
-----	------	-------	----------	-----	--------	------

4	(1)	(7)		(4)		
	(2)					
	(3)					
	(4)					
	(5)					

5	(1)					
	(2)	①				
		②				
	(3)					
	(4)					
	(5)					
(6)						

6	(1)	①	(7)		(4)		(4)		
		②	の自由			③			
		④							
	(2)	①	選んだ立場						
			Aさん・B市						
②									
③									

以下はあくまでも解答の一例です

社会	解答用紙	2枚中の1	受験番号	中社会	氏名	(6点)
----	------	-------	------	-----	----	------

1	(1)	①	地中海性気候	4点	②	C	3点
	(2)	①	冷帯は冬の寒さは厳しいが、夏は気温が上がる。など	2点	寒帯は一年中、寒さが厳しい。	など	2点
		②	南半球には、冷帯の高緯度にあたる地点に陸地が少ないから。			など	4点
	(3)	(ア)	アルパカ	3点	(エ)	じゃがいも	3点
					(カ)	森林	3点
	(4)	①	イスラム教	3点			
		②	・特定の宗教に対する先入観やイメージを捨て、多様な文化を尊重する必要がある。			など	4点
	(5)		世界各地の人々の生活は自然的条件だけでなく、 ・文化や歴史、他地域との交流等の社会的条件の影響も大きく受けて成り立っている。			など	5点

2	(1)	①	しまなみ海道 尾道・今治ルート など	3点	②	坂出市	3点
	(2)		・Bルート開通により、四国側から岡山県への移動だけでなく、岡山県から四国側への通勤・通学者が増え、相互交流が盛んになった。			など	4点
	(3)	①	ストロー現象	4点	②	ベッドタウンの開発、大学や企業の郊外への移転	など 4点
	(4)	グラフ	理由				
		イ	瀬戸内工業地域は全国に比べて化学工業の割合が高いから。	2点		など	4点
	(5)	①	世代や働き先等が異なる複数の島民の立場から捉え直すことで、観光による町づくりについて、多面的・多角的に考察できる。			など	5点
		②	誰もが暮らしやすく、次の世代も住み続けられる町づくり			など	5点

3	(1)	(ア)	下克(剋)上	3点	(イ)	分国法	3点
	(2)		・資料と資料、既存の知識と資料の間にズレがある。 ・同じものや場所の変化や継続性が分かる。			・大きさ、重さ、数字等の大小に驚きがある。 ・学習者によって考え方の違いがしやすい。	など 5点
	(3)		永仁の徳政令	4点			
	(4)		中継貿易	4点			
	(5)	町の自治	・町衆を中心に自治を行った。 ・座と呼ばれる同業組合をつくり、(武士や貴族、寺社にお金を納め) 営業を独占した。			※町、村の自治を両方書けて5点 など	
		村の自治	・有力な農民は、惣と呼ばれる自治組織をつくった。 ・寄合を開き、守るべきおきて(きまり)をつくって団結を強めた。			など	
	(6)		室町の文化は、現代に受け継がれている。			など	5点
	(7)		学習した内容を比較したり関連付けたりするなどして、その結果を言葉や図などで表したり、互いに意見を交換したりする活動			など	5点

以下はあくまでも解答の一例です

社会	解答用紙	2枚中の2	受験番号	中社会	氏名	(6年)
----	------	-------	------	-----	----	------

4	(1)	(7)	陸奥宗光	4点	(イ)	小村寿太郎	4点
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシアはアジアへの進出の足がかりに朝鮮や中国へ進出したかった。 ・ロシアは朝鮮や中国へ進出したいが、日本が邪魔だった。 					など 6点
	(3)	義和団を鎮圧したが、事件終結後も日本とロシアは韓国（朝鮮）や清（満州）に勢力を広げ、互いに対立を強めていったから。					など 6点
	(4)	日露戦争では、日清戦争と比較して、戦死者や戦費が多かったが、賠償金を得ることができなかったこと。					など 6点
	(5)	日本はアジアで最初の立憲制国家になったから。					など 6点

5	(1)	平均寿命	4点	
	(2)	① 核家族	4点	
		② 少子高齢化の進展により、高齢者に対する現役世代の負担が増加し、社会保障給付費も増加している。	など 5点	
	(3)	デジタル庁	4点	
	(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・人工知能の急速な進化などによる産業や社会の構造的な変化等と関連付けて取り上げる。 ・災害時における防災情報の発信・活用等の具体的事例を取り上げる。 		など ※どちらかのことが書かれていれば正解とする。6点
	(5)	グローバル化	4点	
	(6)	気候変動、地球温暖化	など 4点	

6	(1)	①	(7)	国民主権（順不同）	2点	(イ)	基本的人権の尊重（順不同）	2点	(ウ)	平和主義（順不同）	2点	
		②	思想・良心、 集会・結社・表現 学問 ※いずれか1つ	の自由	4点	③	教育基本法	4点				
		④	<ul style="list-style-type: none"> ・社会全体（共通）の利益 ・個人の個別的利益に対して、多数の個々の利益が調和したところに成立する全体の利益 									など 4点
	(2)	①	選んだ立場	Aさん：憲法で経済活動の自由が保障されており、私はこの場所に元々住んでいるので、ここで商売をする権利がある。							など	
			Aさん・B市	B市：公共の福祉の考えから道路建設は多くの市民の利益になるので、移転してほしい							など ※どちらかの意見が書けていれば 5点	
		②	<ul style="list-style-type: none"> ・両者の主張も憲法第29条の財産権に関わるものなので、両者とも憲法上正しいということに気づかせたいという意図 ・両者の主張も憲法上正しいので、簡単には解決しないことを感じさせたい意図 									など 5点
		③	効率と公正の考え方									など 5点